

# I 令和5年度 学校経営の概要

## 1 学校経営に当たって

### (1) 地域の実態

本校は由利本荘市中心部から東へ10kmほどの場所にあり、学校のすぐ傍を子吉川の支流である芋川が流れ、北側と南側は山に囲まれている農村地帯である。農業を担っているのは高齢者であり、ほとんどの世帯は地元や旧本荘市の企業等に勤めている。学区は広く、国道105号、日沿道大内ジャンクションや道の駅があり、交通量は多い。

保護者は学校に協力的で、PTA活動や奉仕作業等に積極的に関わり、互いの家庭環境等を理解し合っている。また、地域住民も学校教育に関心が高く、「クラブ活動」「安全・安心見守り隊」「スポーツ少年団」等の活動や、ボランティアとして教育活動に関わるなど、地域が一体となって子どもたちの安全や成長を見守る体制ができています。コミュニティ・スクール機能を生かしたり、学校支援活動事業を活用したりしながら、地域に開かれた学校運営を進めている。

### (2) 子どもの実態

全校児童数は139名（男子86名、女子53名）で、本年度は通常学級6学級と特別支援学級2学級で編成されている。

生活面では、明るく伸び伸びと活動する子どもが多く、休み時間はグラウンドや体育館で男女一緒に元気よく遊んでいる。また、係や当番活動・児童委員会活動では、みんなと協力して自分の役割を果たすことができる子どもが多い。縦割り活動では、上級生が下級生に優しく声を掛けたり、リーダーとして積極的に行動する姿を見ることができている。その反面、目標に向かって努力する向上心や規範意識は十分とはいえない。子どもたちは、保育園から固定された人間関係の中で生活しているため、なかなか自己改革を図る機会や場面に恵まれていないことも影響していると考えられる。

学習面では、県学習状況調査や標準学力検査CRTの結果から、県平均・全国平均と同様の学力が身に付いている学年もあるが、平均を下回る学年もあり、学年によって差が大きい。与えられた課題に対しては真面目に取り組むことができるが、思考力や表現力、学び合う力では個人差が大きい。また、特別な支援を要する子どもの割合がとても高く、個別の指導計画を立てて指導に当たっている。

登校は、徒歩による集団登校を原則としているが、遠距離地域はバスでの通学となっている。下校後は、安全・安心の面から学校近くの児童館で過ごす子どもが多い。

### (3) 学校の課題

学習面では、「個別最適な学び」の実現を目指すために「個に応じた指導の充実」を重点とし、授業のねらいに応じた具体的な評価規準を設定し、意欲やつまずき等を把握しながら支援と評価に結び付けてきた。また「協働的な学び」を支えるために「対話的な学びのコーディネート」を通して、見方・考え方を働かせながら、学習過程の中で理解を深めたり、思考を深めたりすることを実践してきた。県学習状況調査等の結果から、それぞれの課題は徐々に成果となって表れてきているが、自力思考の際に必要な思考力や、思考のアウトプットとなる表現力が弱いといった点では、さらに工夫・改善が必要と思われる。今年度も「生徒指導の三機能を生かした授業づくり」を基に、子どもの学ぶ意欲と主体性を高め、引き続き「読解力・思考力・表現力」の育成に取り組んでいきたいと考える。

生活面では、子どもの実態より「向上心と規範意識を高めること」「場に応じたあいさつや返事、反応、言葉遣いの励行」を課題と捉え、よりよい人間形成の一環として地域・家庭との連携を図りながら、全ての教育活動を通して取り組んでいきたいと考える。さらに多様な人との望ましい人間関係づくりについても、重点的に取り組んでいかなければならない課題と捉えている。

学校の課題への取組については、生徒指導の機能を生かした取組を基本とするとともに、キャリア教育の視点からも日常生活や日々の学習が将来の生き方と関わっていることに気付くようにし、目標をもって努力することができるように指導していきたい。

## 2 学校教育目標について

「令和」の時代に入り、子どもたちを取り巻く環境は、少子高齢化や情報化、グローバル化の進展など、大きく急激に変化している。こうした状況の中、次代を担う子どもたち自身の「生きる力」を育てていくために、学校教育が果たす役割は大きい。小学校学習指導要領が全面実施となり4年目となる今年度は、前年度の反省を踏まえ、学習指導要領の理念を再確認し、これからの時代に求められる資質・能力を育成するための教育活動をPDCAサイクルを用いて的確に展開していく必要がある。

秋田県では少子高齢化が加速度的に進行し、大内地区でも平成27年度・平成28年度の小・中学校統廃合により、現在の1中学校2小学校となった。秋田の将来を支える子どもたちが、変化が激しく予測困難な時代になっても、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、判断して行動し、社会に貢献できるような生き方ができるように育てていかなければならない。そのためには、学校教育にあっても、以下の点に留意し、意図的に取り組んでいく必要がある。

- ①ふるさとへの愛着をもち、しっかりと地域に根をはり、日本人として、秋田県民として誇りをもつ自己の確立を目指すこと。
- ②将来、社会の一員として市民意識をもった自立した大人になろう、という志をもつ人間を目指すこと。
- ③厳しい時代を乗り越え、たくましく生きていくための問題解決能力を身に付けた人間を目指すこと。

そのために小学校では、自立の基礎を養い、基礎学力を付けていくことに加え、将来の姿まで見通した上での可能性をもった「人」を育てることに意識を傾けることが大切である。そして、本校の課題を解決し、望ましい社会人を育てていくようにしたい。そこで、キャリア教育を中心に据えた全教育活動を通じた生き方指導をすることにより、自他の生き方を尊重し、より価値のある生き方を求め実践しようとする子どもが育っていくのではないかと考える。そこで、すべてを一元化し、キャリア教育の視点も含めた誰にでも分かる目標としたものである。

# いきいき生きる わくわく学ぶ やさしくかかわる 岩谷の子ども

### (1) 「いきいき生きる」とは…【成長保障】

大きく急激に変化する時代を生き抜く力を身に付けることを目指している。志や夢に向かって主体的に努力する子ども、ふるさとを愛し自分のよさを生かそうとする子ども、人の役に立とうとする子どもを育てたい。そのためには、多少の困難をものともせず乗り越える心身のたくましさが必要だと考える。

### (2) 「わくわく学ぶ」とは…【学力保障】

自ら課題意識をもって主体的に探究し、獲得した知識や身に付けた技能を活用して、問題を解決していく子どもを目指している。その過程で、思考力・判断力・表現力等が鍛えられ、教科で身に付けた見方や考え方を広く活用したり、友達と学び合ったりする活動を通して自らの学び方に反映させたりできる子どもを育てたい。

### (3) 「やさしくかかわる」とは…【満足保障】

友達や仲間を互いに尊重し合い、高め合うことはもちろんのこと、敬意や感謝の心をもって、ふるさとの自然や歴史、人やものに接することができ、品格あるコミュニケーションがとれる子どもを目指している。自分に自信をもち、自分と同じように他者を大切に思うことができる子どもを育てたい。

これらのことを実現するためには、全職員が共通理解に立った上で教育活動全般の見直しをもち、PDCAサイクルを生かしながらステップアップさせていく必要がある。

また、家庭や地域との連携が不可欠であり、家庭には基本的な生活習慣やコミュニケーション能力の形成にご協力をお願いしていく。併せて地域の方々には、地域学習の支援や生き方指導にご協力をいただく。地域の宝である子どもたちが、社会的・職業的に自立できるように全職員で取り組んでいく。

### 3 経営の重点「生徒指導の機能を生かした教育活動の推進（共通理解・共通実践）」

#### （1）いきいき生きる（成長保障）

- ①一人一人の活躍の場が保障され、居場所のある学級づくり（自己有用感・自己肯定感の醸成）
- ②ふるさと教育を基盤としたキャリア教育の推進（「志」「夢」をもたせる指導）
- ③意欲と向上心を高めるめあてのもとせ方と振り返り活動の重視（学校生活・学校行事等）
- ④保・小・中学校との効果的な連携による成長の連続性を意識した指導
- ⑤コミュニティ・スクールによる地域とともに歩む開かれた学校づくり

#### （2）わくわく学ぶ（学力保障）

- ①カリキュラム・マネジメントを通じた教育課程の工夫
- ②「主体的・対話的で深い学び」を視点とした授業改善（生徒指導の三機能を生かした授業）
- ③教師の専門性を生かした教科担任制指導と、算数を中心としたT T指導、モジュール型授業の実施、単元評価問題の活用
- ④基礎・基本の定着に向けた全校国語・算数テストの実施
- ⑤特別支援学級と通常学級に在籍する支援を要する子どもへの適切な指導

#### （3）やさしくかかわる（満足保障）

- ①子どもの居場所があり、互いの気持ちが通い合う居心地のよい学級経営（共感的人間関係の育成）
- ②場に応じたあいさつや返事、反応、言葉遣いの定着
- ③全教育活動を通じた道徳教育の充実（「特別の教科道徳」への取組、規範意識の向上他）
- ④家庭・地域との効果的な連携による人間関係形成・社会形成能力の育成
- ⑤「いじめ防止基本方針」の周知・徹底（いじめ未然防止、早期発見・早期解決）

### 4 経営に当たって

#### （1）学校教育目標・目指す子ども像の意識化

- ①学年経営案や各教科・領域の経営案と学校教育目標を連動させ、すべての職務・教育活動は、学校教育目標・目指す子ども像の具現化に向けて行われるという意識で取り組む。
- ②全職員が共通理解の基に「一枚岩」として協力し、共通実践を心がける。

#### （2）PDCAサイクルの推進

- ①子どもの実態（学力、体力、人間関係等）を具体的に把握し、計画立案、共通理解・共通実践を行う。そして、子どもの学びや活動の状況を把握（評価）し、改善を図る。
- ②子どもの姿に責任をもち、指導すべき機会を逃さず、子どもの心に寄り添った指導を行う。

#### （3）保小・小小・小中の連携

- ①岩谷保育園・大内小学校・大内中学校との連携を効果的に行い、円滑な接続を推進する。
- ②大内中学校区での9年間のキャリア教育推進計画（A B C D運動）や育てたい力の系統表を活用しながら、成長や学びの連続性を意識した指導を行う。

#### （4）家庭や地域との連携

- ①コミュニティ・スクール機能を生かし、開かれた学校・地域に学ぶ学校を目指し、保護者や地域の方々と協働する。
- ②学校（自分）の立場だけでなく、保護者・地域住民等、相手の立場に立って考える。

#### （5）働き方改革の推進

- ①仕事の効率化を図り、業務分担の見直し、業務改善を意識的に行う。
- ②先を見通した働き方、時間を意識した働き方に取り組む。
  - ※ 遅くても18時30分をめどに退勤することを心がける。
  - ※ 1か月の平均時間外勤務時間（持ち帰り仕事時間を含む）45時間以下とする。

# 学校経営の方針

## 秋田県学校教育の指針

豊かな人間性を育む  
学校教育

- 1 思いやりの心を育てる
- 2 心と体を鍛える
- 3 基礎学力の向上を図る
- 4 教師の力量を高める

## 保護者や地域とともに歩み、信頼される学校づくり

- 1 いきいき子どもたちが活動する学校（成長保障）
- 2 わくわく分かる授業を実践する学校（学力保障）
- 3 やさしさと達成感のある学校（満足保障）

## 由利本荘市の学校教育

人間性豊かで進取の気性に  
富むたくましい子供の  
育成

～科学的な探求心を育み、  
確かな学力を身に付け  
させる教育の推進～

## 学校教育目標

**いきいき生きる わくわく学ぶ やさしくかかわる 岩谷の子ども**

## 目指す子どもの姿

### ◎いきいき生きる

- ・ふるさとを愛し、人の役に立とうとする子ども
- ・自分自身を見つめ、夢に向かって成長しようと努力する子ども

### ◎わくわく学ぶ

- ・課題意識をもって主体的に探究し、発信できる子ども
- ・めあてをもって学び、学び方を身に付ける子ども

### ◎やさしくかかわる

- ・友達を大事にし、協力してものごとに取り組む子ども
- ・思いやりの心を持ち、人の立場になって行動できる子ども

## 令和5年度の重点

### 生徒指導の機能を生かした教育活動の推進（共通理解・共通実践）

- ①一人一人の活躍の場が保障され、居場所のある学級づくり  
(自己有用感・自己肯定感の醸成)
- ②ふるさと教育を基盤としたキャリア教育の推進（「志」「夢」をもたせる指導）
- ③意欲と向上心を高めるめあてのもたせ方と振り返り活動の重視  
(学校生活・学校行事等)
- ④保・小・中学校との効果的な連携による成長の連続性を意識した指導
- ⑤コミュニティ・スクールによる地域とともに歩む開かれた学校づくり

- ①カリキュラム・マネジメントを通じた教育課程の工夫
- ②「主体的・対話的で深い学び」を視点とした授業改善（生徒指導の三機能を生かした授業）
- ③教師の専門性を生かした教科担任制指導と、算数を中心としたTT指導、モジュール型授業の実施、単元評価問題の活用
- ④基礎・基本の定着に向けたパワーアップタイムと全校国語・算数テストの実施
- ⑤特別支援学級と通常学級に在籍する支援を要する子どもへの適切な指導

- ①子どもの居場所があり、互いの気持ちが通い合う居心地のよい学級経営  
(共感的人間関係の育成)
- ②場に応じたあいさつや返事、反応、言葉遣いの定着
- ③全教育活動を通じた道徳教育の充実  
(「特別の教科道徳」への取組、規範意識の向上他)
- ④家庭・地域との効果的な連携による人間関係形成・社会形成能力の育成
- ⑤「いじめ防止基本方針」の周知・徹底  
(いじめ未然防止、早期発見・早期解決)

## 研究主題

**学びのつながりを意識して学習する子どもの育成  
～「対話的な学び」の充実を通して～**

### 岩谷小学校の教員として(地域を越えて一校一心)

- 1 子どもの心に寄り添った指導を行い、子どもの姿に責任をもつ教師
- 2 保護者や地域の期待に応え、信頼される教師
- 3 授業を工夫し、子どもに学力を身に付けさせることができる教師
- 4 子どもとともに歩み、子どもに満足感や充実感を与えることができる教師
- 5 教育公務員としての自覚をもち、心身ともに健康で真摯な教師

# 「生徒指導の三機能を生かした授業」について

段階	学習活動 手立て	生徒指導の三機能を生かす留意点
導入	<p>○課題設定</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>教材提示の工夫</li> <li>発問の工夫</li> </ul> </div>	<p>●自己決定の場を与える</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>興味・関心をもち、主体的に学ぼうとする意欲が湧くような提示をする。</li> <li>多様な考え、対立意見を生むような発問を行う。</li> <li>自分で考えた課題を設定させる。</li> <li>課題を自分事としてとらえさせる。</li> </ul> </div>
展開	<p>○課題追究・課題解決</p> <p>○学習形態や場の設定の工夫</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>自力思考</li> <li>ペア、グループ学習</li> <li>TT、少人数、習熟</li> </ul> </div> <p style="text-align: center;">← 思考力・判断力・表現力</p> <p style="text-align: center;">← 学びに向かう力・人間性</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 20px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>一人学びの場</li> <li>グループ学習の場</li> <li>全体で学び合いの場</li> </ul> </div>	<p>●自己決定の場を与える</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>時間と場を保障する。</li> <li>考えたり見たりする視点を具体的に示す。</li> <li>個に応じた支援と助言をする。</li> </ul> </div> <p style="text-align: center;">← 自分の考えを把握したり、自分の思いを表現したりする。</p> <p>●自己決定の場を与える</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>机間指導で見取り、意図的指名に生かす。</li> <li>個に応じたノート指導を行う。</li> <li>一人ひとりが活躍できるように、配置・人数を考えながらグループを組む。</li> <li>子どもの目を見て共感的に聞く。</li> <li>ネームプレートを活用したり、発表者の名前を板書に位置付けたりする。</li> <li>子どもの発言を取り上げながら、価値付けたり、励ましたり、勇気付けたりする。</li> <li>友達の名前を付けながら自分の考えを発表したり、友達の考えと関連付けながら（比べながら）発言したりする子どもを価値付ける。</li> <li>間違いや誤答、つぶやきを大切に、全体の場で取り上げたりする。</li> <li>互いに説明させたり、評価させたりする。</li> <li>目立たない子どもの努力や学びに向かっている姿を取り上げ、値打ちある行動や考えを共有したり、賞賛したりする。</li> </ul> </div> <p>●自己存在感を与える</p>
終末	<p>○振り返り</p> <p style="text-align: center;">← 知識・技能 学びに向かう力・人間性</p>	<p>●自己決定の場を与える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>振り返りの視点を明確に示し、見取る。</li> </ul> </div> <p>●自己存在感を与える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>学びの変容を実感させるため意図的指名を行う。</li> </ul> </div>
<p>●共感的人間関係を育成する。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p><b>聴き合う</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>たどたどしい発言でも話し終わるまでしっかり聞き待つ。</li> <li>異なる考えでも理解して聞こうとする。</li> <li>発言をつないでいく。</li> </ul> </div> <div style="text-align: center; width: 30%;"> <p>← 学びに向かう力</p> <p>互いに教え合い</p> <p>励まし合う</p> <p>↑ 教師の姿勢</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p><b>認め合う</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>間違えた答えでも笑わない。</li> <li>うなずきながら聞く。(拍手)</li> <li>友達の良さを見つけ、認める。</li> <li>相手の立場や気持ちを考える。</li> </ul> </div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>一人ひとりを受け入れて褒める。</li> <li>称揚、激励、意義付け、意味付けを行う。</li> <li>価値ある行為(もの)を創り上げたことを共に喜ぶ</li> <li>友達をからかったりルールを守らなかったりする姿を正す。</li> <li>机の整理整頓をする。</li> <li>ゴミが落ちていない教室を維持する。</li> <li>受容的な態度で接する。</li> <li>教師の自己開示を行う。</li> <li>学びに向かうよい姿を褒める。</li> <li>子どもの考えを言い換えたりつなげたりして寄り添う。</li> <li>子どもの考えや行動から学ぶ。</li> </ul> </div>		

由利本荘市立岩谷小学校 教育目標

生き生き生きる わくわく学ぶ やさしくかかわる 岩谷の子ども

経営の重点

生徒指導の機能を生かした教育活動の推進（共通理解・共通実践）

付けたい資質・能力

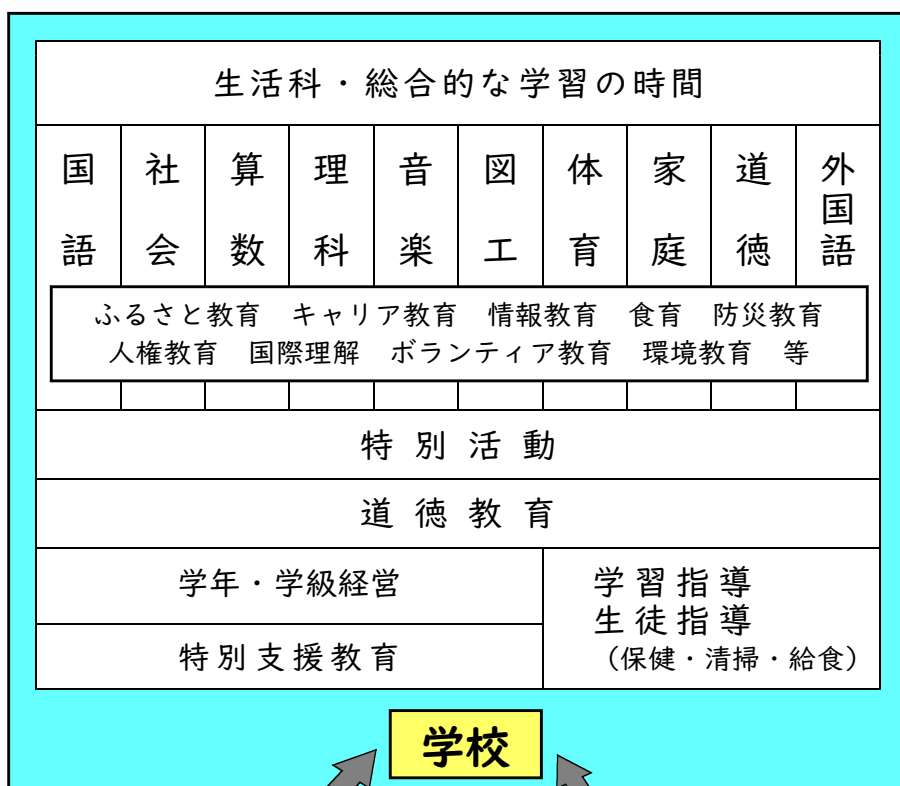
教育目標 資質・能力	いきいき生きる 【成長保障】	わくわく学ぶ 【学力保障】	やさしく関わる 【満足保障】
知識・技能	ア ふるさとを愛する気持ちをもつ	ア 学び方を身に付ける	ア 思いやりの心をもつ イ 友達を大事にする
思考力・判断力 表現力等	イ 人の役に立とうとする	イ めあてをもって学ぶ	ウ 人の立場になって行動する
学びに向かう力 人間性等	ウ 夢に向かって成長しようとする努力をする	ウ 課題意識をもって主体的に探究する	エ 協力してものごとに取り組む

主体的・対話的で深い学び

社会に開かれた教育課程

カリキュラム・マネジメント

家庭や地域と豊かに関わりながら学ぶ



学びを家庭や地域で生かす

